

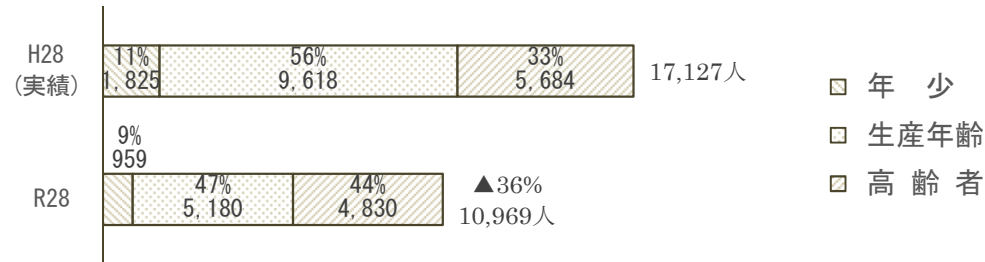
【概要】

① 地域概況、動向

- ・地域内には住宅地が広がり、市街地を形成する人口集中地区となっている。新津IC付近でもあり、交通アクセスに優れた地域となっている。地区中央部、能代川の両岸に市街地が形成されている。
- ・小学校区3校区で構成されている。中学校区周辺部には水田が広がっており、田園地帯を形成している。

② 将来推計人口【図-1】

- ・人口減少、少子・高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト		
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい	
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい
①コミュニティ系施設	新津地域学園	●			●	
	新津地区勤労青少年ホーム	●				
	新関コミュニティセンター			●	●	
④スポーツ施設	新津七日町運動広場					●
⑨幼稚園	新津第二幼稚園			●		●
⑩保育園	新金沢保育園	●				
	新津東保育園	●				
⑪学校教育施設	阿賀小学校					●
	新関小学校			●		●
	新津第二小学校	●				
	新津第五中学校					

※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…①④、純経費/児童数…⑪（小学校）、純経費/園児数…⑨⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）

※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①

※3 利用量評価の指標：利用者数/日…④（屋外）、㎡/児童数…⑪（小学校）、㎡/園児数…⑨⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討事項

I の考え方を基本に、II のそれぞれのサービス機能ごとの考え方に基づいて最適化を検討する必要がある。

I 共通の方針に基づく検討事項

- ・誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を検討する必要がある。
- ・特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を検討する必要がある。

II 施設種類ごとの配置方針に基づく検討事項

【コミュニティ系施設】

- ・新津地域学園、新津地区勤労青少年ホーム、新関コミュニティセンターは、配置方針に基づき、原則地域に1施設をめざし、集約化の可能性を検討する必要がある。ただし、新津地域学園は新津地区公民館との複合施設であるため、公民館機能に配慮しながら検討を進める必要がある。

【スポーツ施設】

- ・新津七日町運動広場は、地域での利用状況や施設の役割を考慮し、近隣施設の集約化を含め施設のあり方を検討する。

【幼稚園】

- ・新津第二幼稚園は、配置方針に基づき廃止する。

【保育園】

- ・新金沢保育園、新津東保育園は、配置方針に基づき、地域の教育・保育をけん引する役割や子育てにおける地域のセーフティネットの役割を果たす市立の「基幹保育園」として存続していくか、民営化を進めるかを検討する必要がある。

- ・新金沢保育園は、新・すこやか未来アクションプラン第2期計画上、耐用年数（木造30年、鉄骨50年）に到達していると整理しており、早急に検討する必要がある。

【学校教育施設】

- ・新津第二小学校、新津第五中学校は適正規模校であるが、配置方針に基づき、施設の効率的な利用を目指し、余裕教室が生じた場合は、教育活動や学校運営に支障のない範囲で利活用を検討する必要がある。
- ・新津第二小学校は施設の老朽化による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。
- ・阿賀小学校、新関小学校は小規模校であることから、配置方針にも掲げた学校の適正規模の考え方に基づき、適正配置を検討する必要がある。併せて、当面の施設の効率的な利用を目指し、教育活動や学校運営に支障のない範囲で余裕教室の利活用を検討する必要がある。また、施設の統廃合による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。
- ・新関小学校はR3年度に複式学級が生じる見込み。

■ 将来推計人口【表-2】(H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計)

	H28(実績)	R8	R18	R28	増減(増減率)	
地域全体	17,127人	15,270人	13,132人	10,969人	▲6,158人	▲36.0%
高齢者(65歳以上)	5,684人	5,635人	5,222人	4,830人	▲854人	▲15.0%
生産年齢(15~64歳)	9,618人	8,139人	6,715人	5,180人	▲4,438人	▲46.1%
年少(14歳以下)	1,825人	1,495人	1,195人	959人	▲866人	▲47.4%

■ 児童生徒・学級数推計(通常学級)【表-3】

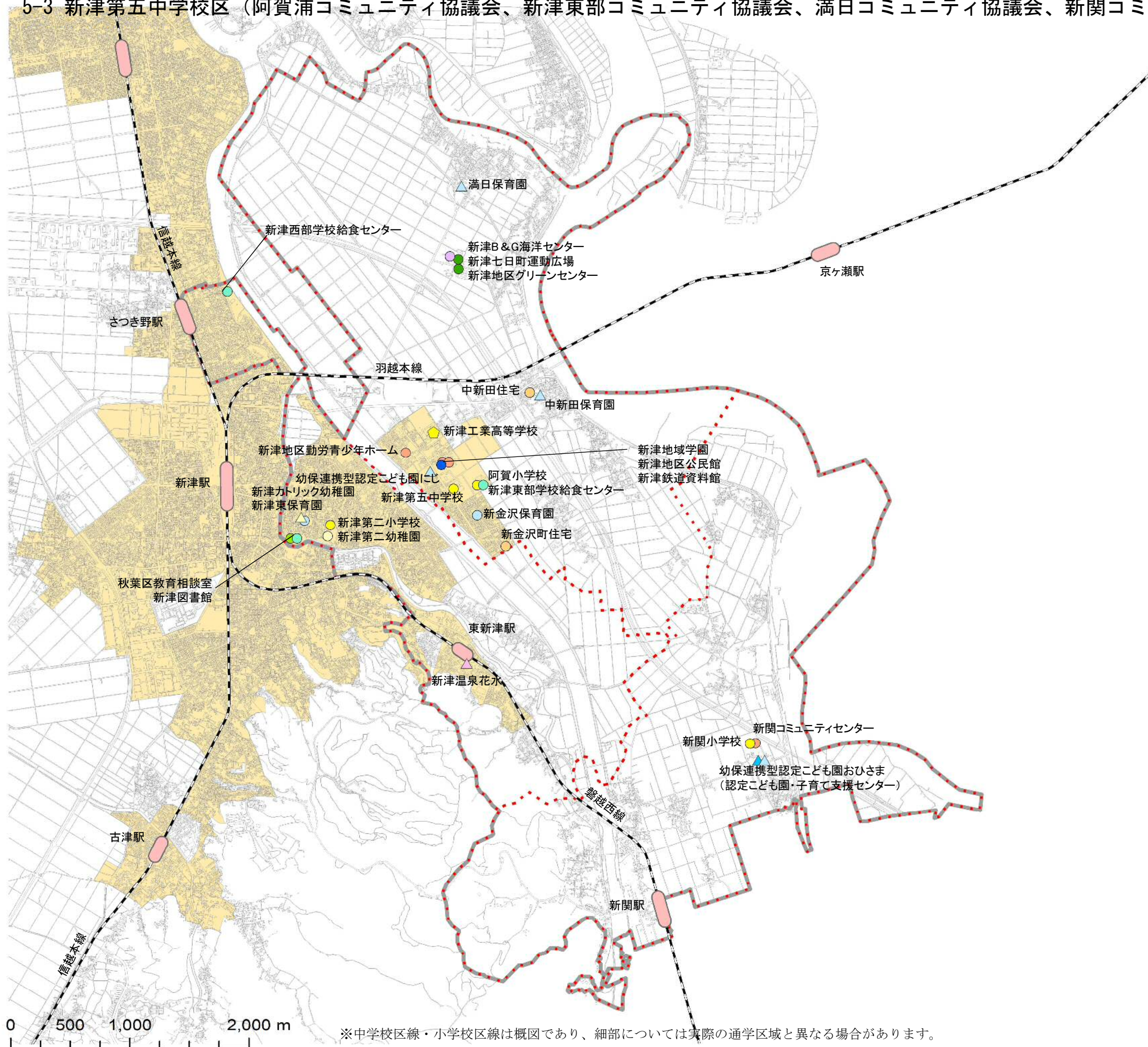
校名	R1(実数値)		R7(推計値)		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
新津第二小学校	366	14	362	13	▲4	▲1
阿賀小学校	269	11	216	8	▲53	▲3
新関小学校	63	6	54	5	▲9	▲1
新津第五中学校	343	12	355	12	12	0

5 秋葉区

5-3 新津第五中学校区 (阿賀浦コミュニティ協議会、新津東部コミュニティ協議会、満日コミュニティ協議会、新関コミュニティ協議会)

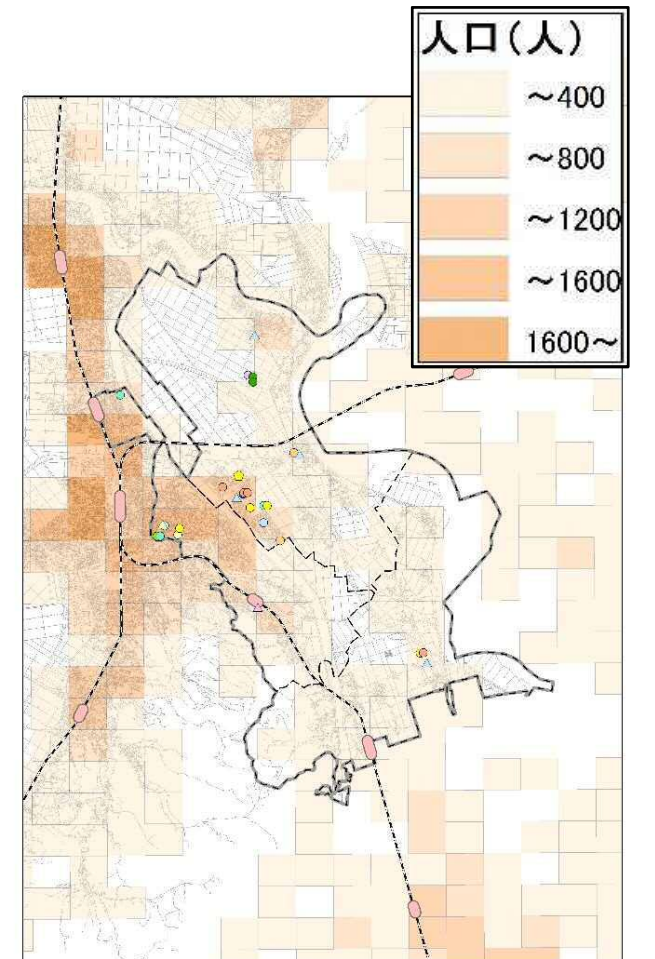
凡例

- コミュニティ施設
 - 博物館・資料館
 - 図書館
 - スポーツ施設
 - 幼稚園
 - 保育園
 - 学校教育施設
 - 公営住宅
 - 教育系施設
 - その他行政系施設
 - 学校教育施設(県保有施設)
 - ▲ 子育て支援施設(民間施設)
 - ▲ 幼稚園(民間施設)
 - ▲ 保育園(民間施設)
 - ▲ 保養施設(民間施設)
- ⋯ 小学校区
 - ▭ 中学校区
 - ▭ 都市機能誘導区域
 - ▭ 居住誘導区域



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

平成27年国勢調査
人口分布図 (500mメッシュ)



5 秋葉区

5-3 新津第五中学校区（阿賀浦コミュニティ協議会、新津東部コミュニティ協議会、満日コミュニティ協議会、新関コミュニティ協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析 領域	
			圏域 区分	複合 施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定 更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)		偏差値	実績(全市平均)		偏差値
コミュニティ系施設	B	新津地域学園	Ⅲ. 地域	1	S41 ~ H29	93	88	R8	8,036.61	一種中高層住居	阿賀浦	○			○	584.0 円/人/回 (928.1)	52.6	20.7 % (26)	-	46.6	2
コミュニティ系施設	B	新津地区勤労青少年ホーム	Ⅲ. 地域		S58 ~ H9	86	100	R25	1,582.64	一種住居	阿賀浦	○			○	317.0 円/人/回 (928.1)	54.5	42.0 % (26)	-	59.4	1
コミュニティ系施設	B	新関コミュニティセンター	Ⅲ. 地域		H22	18	100	R52	600.00		新関				○	1,005.0 円/人/回 (928.1)	49.4	20.9 % (26)	-	46.8	4
スポーツ施設	F	新津七日町運動広場	Ⅲ. 地域		H8	73	100	R38	799.20		満日				○	12.0 円/人/回 (687.8)	58.7	6.0 人/日 (96.8)	-	40.7	2
幼稚園	J	新津第二幼稚園	Ⅲ. 地域		S62 ~ H8	70	100	R29	1,064.13	一種住居	新津東部	◇			○	203.9 万円/人/年 (120.1)	29.5	28.0 ㎡/人 (20.4)	-	37.5	4
保育園	K	新金沢保育園	Ⅲ. 地域		S46	99	100	H23	566.19	一種中高層住居	阿賀浦	◇			○	110.7 万円/人/年 (115.5)	51.5	6.6 ㎡/園児数 (9.2)	-	60.0	1
保育園	K	新津東保育園	Ⅲ. 地域		S58 ~ H8	78	100	R25	766.33	一種住居	新津東部	◇			○	88.4 万円/人/年 (115.5)	58.4	5.6 ㎡/園児数 (9.2)	-	64.0	1
学校教育施設	H	阿賀小学校	Ⅲ. 地域	3	S58 ~ H5	74	100	R25	6,783.86	一種中高層住居	阿賀浦	○			○	67.2 万円/人/年 (83.6)	53.8	25.0 ㎡/人 (24.4)	-	49.6	2
学校教育施設	H	新関小学校	Ⅲ. 地域		H22 ~ H22	18	100	R52	4,242.38		新関	○			○	163.5 万円/人/年 (83.6)	31.6	60.6 ㎡/人 (24.4)	-	26.5	4
学校教育施設	H	新津第二小学校	Ⅲ. 地域		S38 ~ H10	100	99	R8	7,083.33	一種住居	新津東部	○			○	50.8 万円/人/年 (83.6)	57.6	19.0 ㎡/人 (24.4)	-	53.5	1
学校教育施設	I	新津第五中学校	Ⅲ. 地域		S59 ~ H16	64	100	R26	9,683.68	一種中高層住居	阿賀浦	○			○	76.3 万円/人/年 (91.6)	53.9	25.4 ㎡/人 (31.3)	-	53.1	1
教育系施設	S	新津西部学校給食センター	Ⅲ. 地域		H18	39	100	R48	2,030.56	一種住居	新津東部				○	197.0 円/食 (327.4)	61.0	2,966.1 食数/日 (1206.4)	-	62.7	1
教育系施設	S	新津東部学校給食センター	Ⅲ. 地域	3	S58 ~ H14	97	100	R25	908.27	一種中高層住居	阿賀浦				○	309.0 円/食 (327.4)	51.6	1,743.0 食数/日 (1206.4)	-	75.3	1
その他行政系施設	-	新津地区グリーンセンター	Ⅲ. 地域		S58 ~ S59	82	100	R26	831.00		満日				○	-		-	-		
コミュニティ系施設	B	新津地区公民館 ※5	Ⅱ. 区域	1	S41 ~ H29	93	88	R8	-	一種中高層住居	阿賀浦				○	-		-	-		
博物館・資料館	C1	新津鉄道資料館	Ⅱ. 区域	1	S41 ~ H29	93	88	R8	1,764.00	一種中高層住居	阿賀浦				○	698.0 円/人/回 (2550.5)	61.2	190.8 人/日 (44.4)	-	62.9	1
図書館	D	新津図書館	Ⅱ. 区域	2	H26 ~ H30	15	100	R56	2,155.80	一種住居	新津東部	◇			○	302.0 円/冊 (346.7)	51.7	2.3 倍 (1.9)	-	52.0	1
スポーツ施設	E	新津B&G海洋センター	Ⅱ. 区域		S61 ~ H6	56	100	R35	2,008.51		満日	○			○	582.0 円/人/回 (597.1)	49.9	131.4 人/日 (292.5)	6.5 人/100㎡/日 (5.7)	53.3	3
教育系施設	R	秋葉区教育相談室	Ⅱ. 区域	2	H26 ~ H30	15	100	R56	146.16	一種住居	新津東部				○	86,877.0 円/㎡ (53915.8)	33.9	29.2 ㎡/人 (58.6)	-	62.5	3
公営住宅	-	新金沢町住宅	-		H8 ~ H10	94	100	R18	2,827.82	一種中高層住居	阿賀浦				○	-		-	-		
公営住宅	-	中新田住宅	-		H11 ~ H12	41	100	R42	1,879.21		阿賀浦				○	-		-	-		

【記載の条件】 一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

※5 新津地区公民館は条例が重複している施設のため、面積やコスト・貸室の利用率等を分けることができないことから、面積及び分析は新津地域学園にまとめています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	新津工業高等学校
地域内の民間類似施設	新津カトリック幼稚園、中新田保育園、満日保育園、幼保連携型認定こども園おひさま（認定こども園・子育て支援センター）、幼保連携型認定こども園にじ、新津温泉花水